令和５年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立　ひびきが丘　小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和５年４月１８日（火）に、６年生を対象として、「教科（国語、算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

１．調査の目的

⑴　義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

⑵　学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

⑶　そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

２．調査内容

⑴　教科に関する調査（国語、算数）

教科に関する調査（国語、算数）
①　身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等 ②　知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

⑵　児童質問紙調査

児童質問紙調査
○　学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

※本校の６年生については、単学級ですので、個人が特定されないように公表の方法については、配慮しています。

３．教科に関する調査結果の概要

(1) 全国・本市の学力調査（国語、算数）の結果

本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.3	66	9.4	59
全国	9.4	67	10.0	63

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	・「書くこと」の問題に課題が見られる。各教科等の学習の中で、自分の考えを書く活動や、書いたことのよさや課題を共有し合う活動を保障していきたい。
	よくできた問題	・目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができるか判断する問題
	努力が必要な問題	・図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題

算数	全体的な傾向や特徴など	・「数と計算」「図形」の問題に課題が見られる。問題解決の手順を筋道立てて説明することや、日常の具体的な場面と対応させた問題を解決することなどを計画的に取り組みたい。
	よくできた問題	・伴って変わる二つの数量の関係について変化の特徴を読み取り、規則性を見付けたり、比例の関係かどうかを説明したりする問題
	努力が必要な問題	・示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断する問題

４．学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
・「学校に行くのは楽しい」の問いに肯定的な回答をした児童が多い。自主的な活動や学校行事等において、自分の目標を設定したり振り返ったりしながら、各自が役割を果たすことを通して、達成感や充実感を味わうことができたと考えられる。 ・ＩＣＴ機器活用が勉強に役立つと考えている児童は多いが、活用状況の問いについては肯定的な回答が低い。効果的な活用が重要と考える。 ・「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の問いでは、肯定的な回答が低い。学校から出された課題は取り組むが、自主的に学習をしている児童は少ない。 ・「毎日同じくらいの時刻に寝ていますか」「起きていますか」の問いが全国平均に近づいてきた。今後も、保護者と連携しながら、学校（学級）通信・懇談会等で、児童・保護者に啓発していく。

５．調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

・各教科等の学習において、自分の考えを書く活動や、書いたことのよさや課題を共有し合う活動を保障していく。その際に、ＩＣＴ機器の効果的な活用を位置付ける。
・既習学習の定着につながる家庭学習の取り組みを設定していく。
・学習したことを活用する学習場面を計画的に設定していく。

② 家庭生活習慣等に関する取組

・日々の学級指導の中で、家庭生活習慣について意図的に指導していく。特別活動において、「日常の生活や学習への適応」や「健康安全行事」と関連付けながら、継続的に指導していく。
・学校（学級）通信や保健だより等を通して、学習習慣・生活習慣の成果と課題を保護者へ啓発していく。